



# 和紙やガラス、焼き物…超絶技巧のミyakumiyakuを 中川政七商店が発売

## 大阪・関西万博公式キャラクター・ミyakumiyakuを、日本の工芸で表現

1716年創業の奈良の老舗・株式会社中川政七商店（所在地：奈良県奈良市、代表取締役社長 千石あや）は、大阪・関西万博公式キャラクター・ミyakumiyakuとのコラボレーション商品が発売いたします。第一弾商品として、日本の工芸でミyakumiyakuを表現したオブジェ4種を、2025年4月13日(日)から、「2025大阪・関西万博 会場内オフィシャルストア 西ゲート店 KINTETSU」にて販売いたします。また会場外では同日より、中川政七商店 近鉄あべのハルカス店、中川政七商店オンラインショップにて予約開始いたします。

なお第二弾では、豆皿やだるま、ふきん等、暮らしに寄り添う12種類のアイテムを展開予定。3月中旬に発表します。



100年前、1925年のパリ万国博覧会（「パリ万博」）では、美術工芸品は「日本の最先端のものづくり」として数多く展示され、中川政七商店も麻織物のハンカチーフを出展しました。それから100年後の2025年、日本の工芸は再び万博の舞台へ。ミyakumiyakuが新たな命を吹き込み、その輝きを関西から世界へ届けます。

2025大阪・関西万博公式ライセンス商品の第一弾として発売するのは、ミyakumiyakuを日本の工芸で豪華に表現したオブジェ4種。細胞と水がひとつになり誕生したふしぎな生き物・ミyakumiyakuから着想を得て、「水」にまつわる素材やデザインを取り入れました。佐賀県の磁器・鍋島焼や愛媛県の手漉き和紙、千葉県九十九里の硝子など、ミyakumiyakuが、脈々と受け継がれてきた日本の工芸と出会い生まれた品々に、どうぞご期待ください。

### 販売情報

発 売 日：2025年4月13日(日)

取扱店舗：【万博会場内】2025大阪・関西万博 会場内オフィシャルストア 西ゲート店 KINTETSU (09:00発売)

【万博会場外】中川政七商店 近鉄あべのハルカス店 (10:00より予約開始)

中川政七商店 オンラインショップ (10:00より予約開始)

## 超絶技巧の手描き水紋、「鍋島焼のミyakミyak」



鍋島焼のミyakミyak 税込価格：550,000円、サイズ：本体高さ25cm+台座高さ2.5cm、作り手：鍋島焼窯元「虎仙窯」

様々な水の水紋をすべて手描きで表現した、超絶技巧のミyakミyak。作り手は、佐賀県伊万里市の鍋島焼窯元「虎仙窯」。1つの型では作れない複雑なミyakミyakの形を9つの型に分け、50年以上の実績をもつ熟練の職人が精巧に再現。美しい磁器のボディに、穏やかな波の流れを感じさせる「青海波」や渦を巻くように力強く広がる「蛸唐草」、水中を魚が泳ぐような「鱗」のそれぞれの文様が、一筆一筆、職人の手によって丁寧に描き出されています。贅の限りを尽くした、圧倒的な存在感のミyakミyakをぜひご堪能ください。

## 手漉き和紙×3D技術で進化する、「手漉き和紙のミyakミyak」



手漉き和紙のミyakミyak 税込価格：77,000円、サイズ：高さ20cm+台座高さ2cm、作り手：和紙工房「りくう」

伝統的な手漉き和紙と、近代的な3D技術が融合したミyakミyak。作り手は、愛媛県西予市の和紙工房「りくう」。3Dモデリング技術を活かして成型した立体のボディに、ひとつずつ手で和紙を漉いてミyakミyakを形作りました。漉く、叩く、洗う。和紙づくりのほぼすべての工程に欠かせない清らかな水。その水の恵みから生まれた和紙が、ミyakミyakの柔らかな質感と温もり、光を受けて変わる美しい陰影を生み出します。眺めるたびに愛着が深まる、繊細な表情のミyakミyakです。

## 職人の感覚が導く、唯一無二の「硝子のミyakミyak」



硝子のミyakミyak 税込価格：192,500円、サイズ：高さ15cm+台座高さ2cm、作り手：ガラスメーカー「菅原工芸硝子」

硝子で作った、水のように美しい透明感をもつミyakミyak。作り手は、千葉県九十九里のガラスメーカー「菅原工芸硝子」。高温の炉で溶かしたガラスの塊を、何度も温め直しながら伸ばし、曲げ、型を使わずに職人の感覚だけでユニークなミyakミyakの姿を形作ります。小ささまざまなミyakミyakの目玉は、小さなガラスの塊を一つひとつボディに付けて仕上げたもの。熟練の職人にしか成しえない超絶技と、ガラスならではの柔らかな丸み、ぼってりとしたフォルム。手仕事の“ゆらぎ”が生み出す、一つとして同じ形のない、唯一無二の存在感が魅力です。

## 柔らかい金属が力強く輝く、「錫のミyakミyak」



錫のミyakミyak 税込価格：49,500円、サイズ：高さ10cm+台座高さ1.5cm、作り手：鋳物メーカー「能作」

流れる水のように柔らかい、錫の特性をいかして生まれたミyakミyak。作り手は、富山県高岡市の鋳物メーカー「能作」。純度100%の錫を溶かし、瞬時に型へ流し込むことでミyakミyakが形作られます。鋳物ならではのなめらかな質感と、金属ならではの力強い存在感。ミyakミyakの体に流れるしずくまで、繊細に美しく表現しました。錆びにくく、朽ちにくい錫は縁起がよいとされており、福を招くミyakミyakとしてお飾りください。

## 3月詳細発表 第二弾「暮らしに寄り添うミyakミyak」

2025大阪・関西万博公式ライセンス商品の第二弾として、3月中旬には「暮らしに寄り添うミyakミyak」シリーズも発表いたします。ラインアップには、だるまやおみくじ、豆皿など12種を予定しています。本シリーズは「2025大阪・関西万博 会場内オフィシャルストア 西ゲート店 KINTETSU」での販売を予定しています。



©Expo 2025

## 中川政七商店

1716年（享保元年）に創業し、300余年を迎える奈良の老舗。「日本の工芸を元気にする!」をビジョンに掲げています。工芸業界初のSPA（製造小売り）業態を確立し全国に約60の直営店を展開するほか、合同展示会・業界特化型の経営コンサルティング・教育事業など多岐に渡り拡大しています。



〈お客様お問合わせ先〉

中川政七商店 <https://nakagawa-masashichi.jp/>

〈報道関係者様お問合わせ先〉

株式会社中川政七商店 広報 佐藤 菜摘 080-3464-4622 [kouhou@yu-nakagawa.co.jp](mailto:kouhou@yu-nakagawa.co.jp)